

ネットワーク カメラ

インストールマニュアル

DC-B3303X



説明書を読む前に

本説明書では、IDIS Co., Ltd.の製品であるネットワークカメラの設置および運用のための基本的な説明を記述しています。本装置を初めてご使用になるユーザーや、既にご使用中の方でも、必ずご使用になる前に本説明書をお読みになり注意事項をご確認の上、製品を使用することをお勧め致します。安全上の警告および注意事項は、製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるので、必ずお守りください。お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管して下さい。



- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または説明書の使用方法に従わずに発生した製品の損傷は、
 当社で責任を負わないのでご注意下さい。
 - ネットワークカメラを初めてご使用になるか、使い方がよく分からないユーザーは、設置前や使用中に限らず購入先までお問い合わせ頂き、専門技術者のサポートを受けて下さい。
 - 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず購入先までお問い合わせ頂き、専門家のサポートを受けてください。
 - 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置ですので、販売者またはユーザーはこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。

安全上の注意事項の表示

| アイコン | 表記 | 意味 | | |
|------|----|---|--|--|
| | 警告 | この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。 | | |
| | 注意 | この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。 | | |

本文での表記

| アイコン | 表記 | 意味 | | | |
|--------------|----|---------------------------------------|--|--|--|
| | 注意 | 本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。 | | | |
| \checkmark | 参考 | 、機を使用する上で役立つ内容です。 | | | |

著作権

© 2018 IDIS Co., Ltd.

本説明書の著作権はIDIS Co., Ltd.にあります。

IDIS Co., Ltd.の許可を事前に得ず、説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。

本説明書の内容は製品の機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

登録商標

IDISはIDIS Co., Ltd.の登録商標です。 その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。

本文書の内容は予告なく変更する場合があります。

本製品には、一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ソースがライセンスポリシーの下で一般に公開されているかどうかに応じて、ソースコードを入手することができます。詳細については、「システム>一般」ページを参照してください。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSLProjectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含んでいます。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含んでいます。

ご使用になる前に

安全および製品の故障を防ぐため、本装置をご使用にな る前に下記の内容を必ず熟読してください。製品を正し く使うことでユーザーの安全を保護し、財産上の損害な どを防止するため必ずお読みになった上、正しくお使い 下さい。

- 製品を運搬、または設置する時に衝撃を与えないでく ださい。
- 振動や衝撃がある所に設置しないでください。 故障の原因となります。
- 製品の動作中には、製品を動かしたり移動しないでく ださい。
- 清掃をする時は電源を切った後、必ず乾いた布で拭い てください。
- 温度が高すぎるか低すぎるところ、湿度の高いところ には設置しないでください。水または湿気などの防水 対策が施されていない場所には置かないでください。
 火災の原因となります。
- 製品を水滴が滴ったり、するところに放置せず、花瓶のように水の入っているものを製品の上に置かないでください。

火災、感電、けがの原因となります。

- 電源コード部を引っ張って抜いたり、濡れた手で電源 プラグに触らないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。
 破損した電源コードを使うと、火災および感電に つながる恐れがあります。
- 予想できない停電による製品の破損を防止するため、UPS (Uninterruptible Power Supply、無停電 電源供給装置)のご利用をお勧めします。
 関連内容は、UPS代理店でお問い合わせください。
- 本装置内部は感電する恐れがあるため、カバーを開け ないでください。

- 壁や天井などに設置する際は、しつかりと固定し、適 正温度を保持してください。空気が循環しない密閉さ れた空間に設置すると、火災の原因となります。
- 故障および感電の恐れがある温度変化が激しい所や湿気が多い所を避け、接地されていない電源コード及び電源拡張ケーブル、被覆がむけた電源コードを使わないで下さい。
- ・雷の発生が多い地域は雷保護装置のご使用をおすすめ
 します。
- 本装置から異様な匂いがしたり煙が出たら、直ちに電源を切って購入先まで連絡してください。

| 4 | 第1章 製品紹介 | 6 |
|---|--------------------|----|
| | 製品の特徴 | 6 |
| | 付属品の確認 | 8 |
| | 名称及び機能 | 9 |
| | 前面 | 9 |
| | 側面 | 9 |
| | 天面 | 10 |
| | 後面 | 12 |
| | 設置 | 14 |
| | 手動絞りレンズ | 14 |
| | DCタイプ/Pタイプ自動絞りレンズ | 14 |
| | CSマウントレンズ | 15 |
| | Cマウントレンズ | 15 |
| | 寸法 | 15 |
| | | |
| | 第2章 — カメラ接続 | 16 |
| | DirectIP™ NVRご利用の際 | 16 |
| | 一般遠隔監視/録画 | 17 |

| 第3章 - 付録 | 18 |
|----------------|----|
| 故障の際の確認事項(Q&A) | 18 |
| 製品の仕様 | 19 |

製品の特徴

DC-B3303X はイーサネット(Ethernet)を通じて映像を 圧縮転送するIP方式のネットワークカメラです。"IDIS Discovery"(統合ネットワークインストールツール)プロ グラムを使うことで、ネットワークカメラの設定を変更 したり、複数のネットワークカメラを統合管理すること ができます。また、装置内にウェブサーバ(IDIS Web)が 搭載されているため、ウェブブラウザーでリアルタイム 映像を遠隔からリアルタイムで監視したり、録画された 映像を検索できます。なお、製品の購入時に供給される 遠隔プログラムプログラムで、ネットワークカメラの遠 隔管理、監視、検索および録画ができます。



本説明書で言う遠隔地システムとは、遠隔録画・ 遠隔監視(IDIS Solution Suite Compact、IDIS Web) プログラム実行中のPCを称します。

- PCがなくても環境設定を簡単に行えるよう
 に、DirectIP™NVRとともにDirectIPモードにも対応 しています
- 高解像度、高画質映像のリアルタイム監視および録画
 に同時対応するマルチストリーミング対応
- H.265、H.264動画圧縮、M-JPEG圧縮アルゴリズム に同時対応

- 4段階映像圧縮率および多様な圧縮解像度対応
- 双方向オーディオ通信に対応し、遠隔コミュニケーション可能
- イベント前後のバッファリングおよびネットワーク遅 延に備えた映像ストリームバッファリングの提供によりネットワーク録画の信頼性向上
- ウェブブラウザー、または遠隔ソフトウェアを通した 遠隔監視対応
- ユーザーのウェブサイトへのウェブキャスティングの ためのHTMLコードを自動生成
- 遠隔接続時、最大10人の同時接続対応
- セキュリティーのためのIPフィルタリング、 HTTPS、SSL、IEEE 802.1X機能およびユーザー権 限設定可能
- ネットワークバンド幅の有効な使用のためのネットワ ークバンド幅の制限およびMAT機能対応

- UPnP (Universal Plug and Play)機能および内蔵 mDNS (Multicast DNS)プロトコルを利用した便利な ネットワーク接続
- ONVIFプロトコル対応(Core Spec v2.4.2)
- スローシャッター対応により最低被写体照度の性能 改善
- 内蔵IRカットフィルターチェンジャーによる昼間/夜 間モード機能対応
- ネットワークを通じたファームウェアの簡単アップグレード
- システム安定化のためのファームウェア二重化および 自動復旧機能
- ネットワーク上で複数のネットワークカメラの統合管 理可能
- 様々なイベント感知機能: アラーム・イン、モーション感知、トリップゾーン、オーディオ検出、タンパーリング機能

- マイクロSDメモリー保存機能を持ちネットワーク切 断による映像損失に対応
- DC12VおよびPoE (Power over Ethernet)電源対応
- RS485インターフェースを通したパン/チルトドライ バー制御
- C/CSマウントレンズ接続対応
- ビデオ信号出力対応(NTSCまたはPAL設定可)
- 内蔵マイク対応

マルチストリーミングを用いた遠隔監視及び録画 機能は製品と一緒に提供されるIDIS Solution Suite Compactプログラムで支援します。IDIS Solution Suite Compactに関する詳しい内容は各プログラム の説明書をご参考下さい

| Δ | イン | ッターネット (Network)による遠隔接続の際に |
|---|----|----------------------------|
| | は、 | 同時に接続できる回線には制限があります。 |

付属品の確認

製品を購入したら内容を確認し、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。モデルによって提供される付属品の外観や色は異なることがあります。

| ネットワークカメラ本体 | Cマウントリング |
|------------------|---------------|
| | |
| マウントブラケット、ネジ(2本) | 保護カバー(カメラに装着) |
| | |
| フェライトコア | クイックガイド |

名称及び機能

製品があ

製品の色やデザインはモデルによって異なること があります。

前面



内蔵マイク

2 イメージセンサー

● 内蔵マイク

音声を受信します。

• イメージセンサー

被写体の光学イメージを電気信号に変換します。



カメラにレンズが装着されていない場合、カメラ と一緒に提供される保護カバーを利用してイメー ジセンサーを保護してください。



保護カバー

側面

- 2 Cマウントリング
- 3 バックフォーカス調節リング
- ④ マウントブラケット
- 5 マイクロSDメモリーカードスロット

● 保護カバー

レンズがカメラに装着されていない場合、カバーを付けてイメージセンサーを保護します。

• Cマウントリング

Cマウントレンズを使用する場合、付属品のCマウン トリングを装着します。

・バックフォーカス調節リング

天面側にある小さなネジを緩めてからリングを時計 回りまたは反時計回りに回してバックフォーカスを調 節した後、ネジを締めてバックフォーカスを固定し ます。

• マウントブラケット

カメラ天面または底面にブラケットを設置してカメラ を固定できます。ブラケット使用時は1/4-20UNCイ ンチネジを使用してください。

• マイクロSDメモリーカードスロット

マイクロSDメモリーカード(SanDiskまたは TranscendメーカーのSLC (Single Level Cell)または MLC (Multi Level Cell)タイプの製品推奨)を挿入しま す。



 システム動作中にはSDカードを取り除かないで ください。システム動作中にSDカードを取り除 くとシステムが正しく動作しなかったり、SDカ ードに保存された録画データが損傷することが あります。

SDメモリーカードは寿命のある消耗品です。
 使用回数が増えるほどメモリーセクターが損傷
 し、録画できなかったりデータが損失することがあります。SDメモリーカードを定期的に点検
 し、必要な場合は交換してください。

天面



| 0 | RS485ポート |
|---|----------|
|---|----------|

2 オーディオ入/出力

- ③ アラーム入/出力
- ④ ファクトリーリセットスイッチ

● RS485ポート

パン/チルトドライバーを接続します。パン/チルトド ライバーのTX+/RX+、TX-/RX-をネットワークカメ ラの+/--に接続します。RS485接続に関する詳しい 内容は、パン/チルトドライバーの**説明書**を参照して ください。

- Audio(オーディオ)
 - OUT(出力):アンプに接続します(ライン-アウト)
 。本装置はオーディオ出力アンプを含めないため、
 ユーザーはアンプとスピーカーを準備してください。
 - IN(入力): オーディオソースを接続します(ライン-イン)。ライン-インを使用しない場合、前面の内蔵 マイクが対応します。

● Alarm(アラーム)

- OUT(出力): BJT(バイポーラトランジスタ)のオー プンコレクタ(Open Collector)出力で、電圧及び電 流仕様(最大負荷: 30mA、最大電圧: DC5V)を超え て使用しないでください。仕様を超過するアラーム 装置を接続する場合は下図を参考して下さい。



誘導負荷(リレーなど)を接続する場合、ダイ オードを並列に連結しないと製品が壊れるこ とがあります。



- IN(入力): アラーム・イン装置を接続します。(動作方法: NC(Normally Closed)、またはNO (Normally Open)タイプ選択可) → 機械的、または 電気的スイッチをアラーム入力とGND(接地)コネ クターに接続します。アラーム入力範囲は0~5Vで す。電気的スイッチによるアラーム入力が感知され るためには、NCの場合4.3V以上の電圧が、NOの場 合0.3V以下の電圧が少なくとも0.5秒の間保持され る必要があります。

• ファクトリーリセットスイッチ

設定値を工場出荷時の初期設定に戻す場合にのみ使い ます。詳しくは、次項のファクトリーリセットを参照 して下さい。

アラーム入出力、オーディオ入出力およびビデオ 出力コネクターを接続するために、ボタンを押し たまま電線をボタンの下の穴に挿入します。正し く接続されているかを確認するために、ボタンを 放してから電線を引っ張って抜けないかを確認し ます。電線を抜くには、電線上のボタンを押した まま電線を外に引きます。

- 設置地域内の法規が映像及びオーディオ監視を 許諾するかどうかを調査することは使用者の責任です。
 - ネットワークコネクタは屋外用の電線やケーブ ルに直接接続できるように設計されていません。

ファクトリーリセット

ファクトリーリセットスイッチは、カメラを工場出荷時 の初期設定に戻す場合にのみ使われます。



- 本装置から電源アダプターを外します次にファクト リーリセットスイッチを押します。
- 2 スイッチを押した状態で、電源アダプターを再び 接続します。
- 3 装置の電源がONになり電源LEDが点滅したら、約5 秒後に押していたスイッチを放します。
- 4 本装置が初期化されファクトリーリセットを完了 すると、システムが再起動します。これでカメラ のすべての設定は工場出荷時の初期設定状態に戻 ります。

本装置がONになった状態で、ファクトリーリセットス イッチを短く押してから放すことでファクトリーリセッ トを行ったり、PCからIDIS Discoveryプログラムを実 行してファクトリーリセットを行うこともできます。 ファクトリーリセットが完了すると、システムが再起動 します。遠隔ファクトリーリセットに関する詳しい内容 は、IDIS Discovery説明書を参照して下さい。 入出カコネクター

| Audio | GND OUT GND IN | 3 2 2 1 | |
|-------|-------------------------|------------------|--|
| Alarm | GND OUT IN | 3 2 1 | |

| | GND | 接地 |
|-------------------------|-----|---------------|
| Audio | OUT | オーディオ出力 |
| (オーディオ) | GND | 接地 |
| | IN | アラーム入力 |
| | GND | 接地 |
| Alarm | | アラーム出力 |
| | OUT | (アクティブロー - オー |
| () ⁻ ,), () | | プンコレクタ出力) |
| | IN | アラーム入力 |

RS485コネクター



| マスター装置 | スレーブ装置 |
|----------------------------------|----------|
| $+ \rightarrow To \rightarrow T$ | TX+/ RX+ |
| $- \rightarrow To \rightarrow$ | TX-/RX- |

後面



| 0 | 自動絞りレンズコネクター |
|---|--------------|
| 2 | ビデオ出力 |
| 3 | 電源 |
| 4 | ネットワークポート |
| 6 | ネットワークLED |
| 6 | 電源LED |

自動絞りレンズコネクター

DCタイプの自動絞りレンズやP絞りレンズを使用する 場合、自動絞りジャックを接続します。

✓ 自動絞りジャックの長さが20cm以上のレンズが 接続できます。

• ビデオ出力

モニターを接続します。

→ 映像監視の用途ではなく、プレビュー用途でご 使用ください。

■ 電源

- DC12V +/-: 電源コネクターへ電源の電線2本を 接続します。電線接続時、電源の+/-を区分して接 続します。電源が印加されると起動します。
- FGND(フレームアース): アースをとります。

• ネットワークポート

RJ-45コネクターを持つCat5eケーブルを接続しま す。PoEスイッチを使う場合、イーサネットケーブル を通じてネットワークカメラに電源を供給することが できます。PoEスイッチについては、PoEスイッチメ ーカーの説明書を参照してください。本ネットワーク カメラはネットワークを通じてPCと接続して設定、 管理およびアップグレードすることができ、遠隔か ら映像を監視することができます。ネットワーク接続 設定については、IDIS Discovery説明書を参照して下 さい。

● ネットワークLED

ネットワーク接続状態を表示します。詳しくはLED状 態表示を参照して下さい。

● 電源LED

システムの稼動状態を表示します。詳しくは<u>LED状態</u> <u>表示</u>を参照して下さい。

ビデオ出力および電源コネクタを接続するため、ボタンを押したまま下の穴に電線を差し込みます。確実に接続しているか確認するため、ボタンを離して電線を軽く引っ張ってください。電線を抜くためには、上のボタンを押したまま電線を引っ張ってください。

- DC12V電源からPoE電源に切り替える場合、
 システムが再起動します。
 - 電源のアース端子を必ず接地してからご使用 ください。
 - 電源コードは足にひっかからないように配線
 し、コードが家具などによって傷がつかない
 ようにご注意下さい。電源コードをカーペットの下に設置せず、また一つのコンセントに
 あまり多くの装置を差して過負荷が生じない
 ようにご注意ください。
 - 電磁波を抑制するためカメラ側ネットワーク ケーブルの先端部に製品と一緒に提供される コアを2回巻いてご使用ください。



LED状態表示

| LED状態 | | 説明 |
|--------------------------|----|---------------------|
| | 消灯 | 電源が接続されていない |
| 電源LED | 点滅 | 起動中 |
| | 点灯 | 動作中 |
| ネットワーク LED | 点灯 | ネットワークに接続され ている |
| 電源LED / ネットワーク LED | 点滅 | ソフトウェアのアップグ レード中 |



| DC12V + | 電源接続 (電源の+/-を区分) |
|---------|------------------|
| DC12V - | |
| FGND | フレームアース |

設置

レンズは別売りです。購入を希望する際はカメラの購入 先にお問い合わせください。本カメラは手動絞りレンズ とDCタイプの自動絞りレンズ、P絞りレンズに対応し、 また、CSマウントおよびCマウントタイプのレンズを取 り付けることができます。



- 製品の色やデザインはモデルによって異なるこ とがあります。
- 鮮明な解像度のイメージのためにはメガピクセ ルレンズの使用を推奨します。
- ビデオタイプ自動絞りレンズはサポートしませ ん。
- 450g以下のレンズを使用してください。レンズ が重すぎる場合、カメラのバランスを失うこと があります。
- P絞りレンズを設置するとき、絞りのモード設定 を変更してください。
- 壁または天井の補強工事が必要かどうか確認し A てください。壁または天井がカメラを支えられ る強度がないと、カメラが落ちることがありま す。
 - カメラを直射日光があたる場所に設置すると製 品に悪影響が出る恐れがありますので涼しいと ころに設置してください。

DCタイプ/Pタイプ自動絞りレンズ

1 必要な場合はコネクターソケット(別売り)にレンズ 制御電線をはんだ付けします。レンズ制御電線のは んだ付けに関する詳しい内容は、レンズメーカーの 説明書を参照してください。



| 3 | ピン | 名前(DC) | 名前 (P) |
|---|----|------------------------|-----------|
| | 0 | ブレーキ(ダンプ)コ イル – | A + |
| | 0 | ブレーキ(ダンプ)コ イル + | В+ |
| | 3 | ドライブコ イル + | В- |
| | 4 | ドライブコ イル - | A - |

手動絞りレンズ

- 1 カメラから保護カバーを取り除きます。
- 2 レンズを時計回りに回してカメラに装着します。
- 3 レンズの絞りリングを回して絞りを開けてから適 切に調節します。

- 2 カメラから保護カバーを取り除きます。
- 3 レンズを時計回りに回してカメラに装着してか ら、自動絞りジャックを自動絞りレンズコネクタ ーに接続します。



自動絞りジャックのコードは20cm以上の長さが 必要です。

寸法

前面



- 1 カメラから保護カバーを取り除きます。
- CSマウントレンズを時計回りに回してカメラに 装着します。

Cマウントレンズ



- 1 カメラから保護カバーを取り除きます。
- Cマウントリングを時計回りに回してカメラにリ ングを装着します。
- 3 Cマウントレンズを時計回りに回してCマウント リングに装着します。



側面



第2章 – カメラ接続

DirectIP™ NVR(またはDirectIP™未対応NVR)やVMS(例、IDIS Solution Suite Compact)にカメラを接続します。

DirectIP[™] NVRご利用の際



DirectIP™ NVRを使用すると、別途のネットワーク設定をしなくてもカメラを簡単に使用することができます。 別途のPCがなくてもDirectIP™ NVRですべてのカメラを制御することができます。 カメラ設定の詳細はDirectIP™ NVRのオペレーションマニュアルのカメラ設定のページをお読みください。

DirectIP™ NVRに接続してカメラを使用する場合、カメラのオペレーションマニュアルをお読みいただく必要はありません。

·般遠隔監視/録画



PCにインストールしたソフトウェアによってネットワークに接続されたカメラを制御します。 遠隔地でネットワークで接続されたカメラを使用するのに適しています。

カメラのオペレーションマニュアルはネットワークカメラがDirectIP™モードに対応しないNVRに接続されていたり、IDIS Solution Suite CompactのようなVMSに接続されている場合にお読みください。

故障の際の確認事項(Q&A)

| 症状 | 確認事項 |
|--|---|
| 本体が起動しません。 | ・電源コードの接続状態を確認します。 ・コンセントの電源を確認します。 |
| PoEスイッチが認識しませ ん。 | カメラに接続された入/出カデバイスとPoEスイッチのアースの状態を確認します。 アースされてない場合、アースして使用してください。 |
| 監視映像が表示されません。 | カメラの電源を確認します。 カメラレンズのフタが取り除かれているか確認します。 手動絞りレンズの場合、絞りが開いているかを確認します。DCタイプ自動絞りレンズの場合、自動絞りジャックの接続状態を確認します。 PCおよびネットワークカメラのネットワーク接続状態を確認します。 |
| 映像がぼやけて見えます。 | レンズに埃が付いていないか確認してから、きれいな布やブラシで拭き取ります。 ピントが正しく合っているか確認します。レンズのピントが合っていない場合は 昼間にピントを調整します。 画面に明るい光がたくさん入りすぎる場合、カメラの位置と角度を適切に調節します。 |
| 映像の色が違って見えます。 | カメラの設定でホワイトバランス設定を確認します。 自動 に設定した場合、ホワイ トバランスを調節するのに若干の時間がかかります。 |
| 映像が点滅します。 | カメラが太陽や蛍光灯に向かい合うように設置されている場合、カメラの方向を変更します。 DCタイプ自動絞りレンズの場合、自動絞りジャックの接続状態を確認します。 |
| Admin IDとパスワードを忘 れてしまい、ネットワークカ メラに接続できません。 | ファクトリーリセットを実行しなければなりません。ファクトリーリセットを実行 すると、ネットワーク設定を含む設定値が工場出荷時の初期値に戻り、現在の設定 値がすべて失われます。万が一のため、ファクトリーリセットを実行した後IDおよ びパスワードを別途に記録して下さい。 |
| IDIS Webプログラムが実行 されません。 | IDIS Webログラムのログイン画面が実行されない場合、マイクロソフトインターネットエクスプローラのバージョンを確認して下さい。バージョンが7.0より古い場合はIDIS Webプログラムが正常に実行できないことがあります。 |

製品の仕様

✓ 本製品の仕様は、製品の改良のため、事前予告なしに変更されることがあります。

ビデオ

| イメージセンサー | 1/2.8" CMOS |
|------------|---|
| 最大解像度 | 2048 x 1536 |
| 走査方式 | 順次走査 |
| レンズマウント | CS、Cマウント |
| レンズ(オプション) | P-アイリス、手動絞り、DCタイプ自動絞り(メガピクセル推奨) |
| 最低照度 | カラー: 0.0206 lux @ F1.2 |
| | 白黒: 0.0007 lux @ F1.2 |
| ダイナミックレンジ | 120dB、True WDR |
| 電子シャッター | 手動 / 自動 (1/30 ~ 1/10,000)、アンチフリッカー、Slow Shutter(1~1/5 、1/7.5、1/15) |
| 昼間/夜間 | IRカットフィルター(自動切換) |
| ビデオ出力* | 1 RCA |

*映像監視の用途ではなく、プレビュー用途でご使用ください。

ネットワーク

| 圧縮アルゴリズム | | H.265、H.264、M-JPEG |
|---------------------|---------------|---|
| ビットレート制御 | | CBR / VBR |
| 最大送信レート | | 30fps: 2048 x 1536 |
| 音声圧縮アルゴリズム | | G.726, G.711 u-Law, G.711 a-Law |
| 対応解像度 | DirectIP™ | 3Mモード: 320x240、480x360、800x600、1280x960、1600x1200 、2048x1536 |
| | Non DirectlP™ | 3Mモード: 320x240、480x360、800x600、1280x960、1600x1200 、2048x1536 |
| | | 2Mモード: 352x240、640x360、704x480、1280x720、1920x1080 |
| ストリーミン グ数 | DirectIP™ | 4 |
| | Non DirectlP™ | 4 |
| イーサネット | | RJ45(10/100/1000BASE-T) |
| 外付けストレージ ** (オプション) | | 「「「 (マイクロSD/SDHC/SDXCメモリカード (Class 6以上、最大128 GB)) |

** 安定的な録画のために、マイクロSDメモリーカード(SanDiskまたはTranscendメーカーのSLC (Single Level Cell)また はMLC (Multi Level Cell)タイプの製品を使用することをお勧めします。

** SDメモリーカードは寿命のある消耗品です。使用回数が増えるほどメモリーセクターが損傷し、録画できなかったりデ ータが損失することがあります。SDメモリーカードを定期的に点検し、必要な場合は交換してください。

** microSD のロゴは、SD-3C、LLCの登録商標です。

入/出力

| オーディオ入力および出力 | ライン-イン1系統 / ライン-アウト1系統 / 内蔵マイク1系統 |
|--------------|--|
| アラーム入力 | 1 TTL、NC/NO Programmable、4.3V(NC) または 0.3V(NO) threshold、DC5V |
| アラーム出力 | 1 TTL open collector、最大負荷: 30mA、最大電圧: DC5V |
| 自動アイリス出力 | 4-ピンmini din jack (標準接続) |

一般

| 動作温度 | -10°C ~ +50°C |
|---------------|----------------------------------|
| 起動可能な温度 | 0°C ~ +50°C |
| 動作湿度 | 0% ~ 90% |
| 電源 | DC12V、PoE(IEEE 802.3af, Class 3) |
| 消費電力 | Max. 6.0 W |
| 認証 | FCC、 CE |
| 外形サイズ (Ø x H) | 76mm x 61mm x 129mm |
| 本体重量 (本体のみ) | 0.4kg |

